

樟蔭国文学

第 31 号

- 篝火にたちそふ恋の煙 西 木 忠 一 (1)
- 『源氏物語』における「ゆかし」の考察(八) 北 村 英 子 (11)
- 「高氏」から「尊氏」へ 谷 垣 伊太雄 (19)
 — 『太平記』卷十三の構成と展開 —
- 尾崎紅葉『心の闇』私論(一) 木 村 有美子 (31)
- 古典文学作品の使用語彙の性格 西 端 幸 雄 (1)
 — 『古典対照語い表』データのコード化を通して
- 学 報 (45)